

JAAM 多施設共同院外心停止レジストリ 概要

目的

心停止症例の蘇生に関わるデータを収集し、客観的な検証を行うことにより、心停止症例の救命率を向上させること。

目標

1. **PDSA (plan, do, study, act) サイクルに基づくマネージメント手法による、地域救急医療体制改善業務の支援**
2. 救急医療に関わる院内・院外データレジストリの集約と登録業務負担の軽減
3. 救急蘇生領域の臨床研究・疫学研究実践の促進
4. 客観的なデータに基づく参加施設へのフィードバック/ベンチマーキング

1. 対象施設

- 日本救急医学会主導のもとで研究参加施設を募る
- 参加施設の条件：JAAM 会員がおり、その会員が責任をもって研究を遂行でき、データ利用要領（別紙参照）に同意したもの

2. 対象期間

- 第1期：2014年6月1日～2016年12月31日
(永続的な実施を予定しているが、1年毎に課題を検証。3年毎更新)

3. 対象症例：参加施設に搬送されたすべての病院外心停止症例

4. 記録内容と方法

- 別紙参照。ファックスまたはウェブ上での登録
- 意見交換会を経て、1年に1回更新予定(2015年度までは変更しない方針)。

5. レジストリの運営方法

- **運営母体：JAAM OHCA 特別委員会**
- データ利用要領等にてルールを規定する
 - データは基本的に学会に帰属する
 - 1年に1度 データセットを登録参加施設に配信。
 - オーサーシップについては、意見交換会であらかじめ議論し、決定。
- 登録データを用いた解析および研究の実施
 - 研究参加施設 意見交換会を年2回(日本救急医学会総会、および日本臨床救急医学会総会期間中) 予定
 - 研究計画・解析計画が重複した場合は、研究者及び委員会で調整。
 - 自施設のデータを利用した研究・解析は自由

6. スケジュール (HPにて順次更新予定)

- 2014年2月10日 学会主導研究として承認
- 2014年5月以降 JAAM HP上で研究概要を公開し、参加を募る。
- **2014年6月1日～ 症例登録開始 (IRB承認施設から順次)**